

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

【 評価基準 （ 最新版 ） : 平成28年6月改訂 67項目 】

① 第三者評価機関名

名称	(株) 第三者評価 <a href="http://daisansha.lolipop.jp/fukushi">http://daisansha.lolipop.jp/fukushi</a>
所在地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
訪問調査日	訪問調査日 2016年11月1日 (火) 改善状況の確認 2016年12月21日 (水)
評価調査者 3名	HF05-1-0098 リーダ III章担当 吉山 浩 HF10-1-0002 I・II章担当 加藤 文雄 HF10-1-0001 A章担当 八巻 芳子
保護者アンケート実施	2016年9月 回収率 100% ( 配布65/回収65 )
評価結果確定日	2016年12月26日 (月)
WAMNET結果公開日	2016年12月26日 (月)



©川西市 2008

使用承認書 平成27.4.27

② 施設・事業所情報

名称:	つくしんぼ保育所	種別:	保育所	
代表者氏名:	光永 富美江 園長	定員 ( 利用人数 ):	60 ( 66 ) 名	
所在地:	本園 : 川西市大和東3丁目1番地の4 畦野駅前分園 : 川西市大和西1丁目65番地3 藤本ビル1F			
TEL	本園 (072) 794-0602	ホームページ:	<a href="http://tsukushinbo-h.jp/">http://tsukushinbo-h.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日:	1984年 4月 1日			
経営法人・設置主体 (法人名):	特定非営利活動法人 つくしんぼ保育所			
職員数	常勤職員:	9 名	非常勤職員:	13 名
専門職員	保育士	15 名	調理師	4 名
設備等の概要	保育室 (0~5歳児)・遊戯室兼ランチルーム・相談室・職員室・調理室・職員更衣室、屋外遊戯場 (園庭)			

③ 理念・基本方針

**理 念**

子どもたちの人間形成の大切な時期を過ごすもう一つのお家として保護者や地域から信頼される保育園を目指す。 それと共に地域の人々が生き活きと生活できるようにコミュニティづくりに努めます。

**基本方針**

一人ひとりの発達課程を知り、一人ひとりの個性を尊重しながら保育します。  
 異年齢の子どものつながりを大切にし、皆んなで仲良く遊びます。  
 感謝する心の芽生えを育む保育をします。(野菜等を育て自然や命の大切さを知る)  
 愛情や信頼関係を育む保育をするために子どもたちをしっかりと受容します。  
 地域の中での保育を大切にして、様々な人との交流をはかります。

**目指す子ども像**

- ・いろいろなものに積極的に関わろうとする子ども
- ・ぶつかり合いの中で相手の気持ちを大切にできる子ども
- ・身の回りのことが自分でできる子ども
- ・自然に親しみ触れ合って元気に遊ぶ子ども
- ・なんでもよく食べて丈夫な子ども

**④ 施設・事業所の特徴的な取組**

- (1) 地域から信頼される保育園を理念に挙げているように、大和の老人クラブやデイサービス施設の方々と保育所との交流行事を行っている。一緒にお花見をしたり、盆踊り大会をしたり、合同運動会など。また、散歩先、公園先で出会う方々とのたわいない会話や挨拶を職員、子どもが自然と交わして地域との関わりを大切にしている。
- (2) 散歩・公園に行くことが多く、足腰をしっかり動かし、体力づくりにつとめている。様々な植物、生き物に出会う機会が多く、体験や経験が積み重なっている。草履保育をし、足の指を使うことで脳の働きを活性化したり、昔ながらの日本の文化を取り入れている。ほぼ毎月1回電車や散歩で遠足に行っている。
- (3) 保護者の就業をサポートするために、玄関で子どもとカバンを預かり時間が掛からないようにしている。また、金銭面でサポートするために、遠足の費用や文房具、アルバム費用は、ほぼ保育所で負担するようにしている。発表会の衣装や道具も費用を惜しまず子どもと保護者が喜んでもらえるよう手間をかけている。手作り帳面を毎日丁寧に記入し、一人ひとりの保護者と密に連絡を取っている。
- (4) 保育所の父母会(保護者会)があり、行事やクラス会に力を入れている。保育所の行事にとっても協力的で、事前の打ち合わせや事後のアンケートの実施も行っている。保護者の意見も取り入れつつ行事を行っている。お互いに協力する姿勢があり、お互いに感謝する姿勢が見られる。この姿を大切にしている。
- (5) 4、5歳児クラスでは英語遊び(月4回、週1回)、点群(月4回、週1回)がある。英語遊びを通じて外国語に興味を持ち、楽しめるようにしている。また、点群を通して想像する力、約30分間カリキュラムに取組み、集中力を身につけている。外部講師と関わる事で、小学校への抵抗、戸惑いを取り除き、保育士とは違う大人と関わる経験ができるようにしている。

**⑤ 第三者評価の受審状況**

評価実施期間	平成28年6月23日(契約日)～平成28年12月26日(評価結果確定日)
受審回数 (前回の受審時期)	1回目 (初受審)

⑥ 総 評

◇ 特に評価の高い点

- (1) 電車に乗っての遠足を年に10回程度実施しておられます。具体的に社会のルールを学ぶとてもよい取り組みだと思いました。また、保護者への配慮として、この遠足に掛る料金もほぼ園で負担し金銭面でもサポートされています。
- (2) 点群というイスラエルの星座を使った教材は子供たちの思考力、集中力、洞察力、観察力を養う上で興味深い取り組みであると思いました。
- (3) 3歳以上の園児は毎日雑魚を食べているとのことでした。しかも何匹食べたかを数えながら食べているとのこと、自然に数を覚えて、かつ身体にもいい取り組みですばらしいと思いました。
- (4) よい子ネットで保護者に対してその日の様子を携帯から発信されています。その日の様子がほぼリアルタイムで確認でき、保護者との信頼関係構築に大きく寄与していると思いました。
- (5) 保育の質の向上に向けた取り組みにおいて、主任保育士が中心となり全職員参画で「改善提案アンケート」による改善提案が、数多く出されており、園一体となって理念の実現に取り組んでいることが確認出来た。その出来映えは、たいへん良く出来ていました。
- (6) 今回、実施した2016年9月の保護者アンケート結果は、100%の回収率（65件回収/65件配布）で、その内容も大変良いもので、保護者より絶賛されていました。

▼ 改善を求められる点 （ b 評価となった3項目 及び 自己評価の出来映え ）

評価基準 II-3-(1)-② ⑤ 外部監査が行われていません。

評価基準 III-1-(5)-④ ③ 『食中毒の発生時における対応マニュアル』の見直しが行われていません。

評価基準 III-1-(5)-⑤ ③ 『不審者の侵入時における対応マニュアル』の見直しが行われていません。

及び 自己評価の出来映えに進化の余地があります。

（ 何事も最初から上手くは出来ません。自ら主体的に継続して取り組む事で上達されると思われれます。 ）

## 訪問調査 2016年11月1日(火) 当日のヒアリングの様子



I・II章 園長・事務長



III章 主任保育士



A章 リーダ保育士

### ⑦ 第三者評価結果に対する保育園のコメント

認可園としては、珍しい個人立からの出発の保育所でしたが、つくしんぼ保育所に係わった職員と保護者からの協力の積み重ねで、ここに第三者評価を受けることができたことに誇りを持つと共に、今回評価を受けるにあたり、職員一同、力を合わせ新たな規程を作り、マニュアル作りに取り組めたことが良かったと思います。

改善箇所や問題点がはっきり見えてきましたが、これからも質の改善に努めて地域で信頼される保育所であり続けたいと思います。

### ⑧ 各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果					
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。							
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c					
<p>〈コメント〉</p> <p>理念、基本方針は広報誌、ホームページに記載され、また園内外への掲示にて、「保護者や地域から信頼される」保育園を目指していることが読み取れる。また、基本方針は玄関や保育室に掲示すると共に会議、研修の場で職員に伝え 行動規範として周知が図られている。保護者に対しても保護者会、運営委員会で説明していることが確認できた。</p>							
<p>パフォーマンス評価 &lt; 結果に対する評価 &gt;</p>							
<p>I-1-(1)-① ⑤ 理念や基本方針が保護者等への周知が図られている。</p> <p>⑥ 理念や基本方針の<u>周知状況を確認</u>し、継続的な取組を行っている。</p>							
<p>2016年9月実施 保護者アンケート結果 (総数 65 家族) 回収率 回収65/配布65= 100%</p>							
<p>設問1 保育園の理念・方針をご存じですか？</p>							
<p>回答 ⑤よく知っている10 (15.4%) ④まあ知っている36 (55.4%) ③どちらともいえない9 (13.9%) ②あまり知らない 8 (12.3%) ①まったく知らない1 (1.5%) ⑥未記入1 (1.5%)</p>							
年齢 クラス	⑤	④	③	②	①	⑥	計
0,1歳 つくし組	0	6	2	2	0	0	10
1歳 れんげ組	0	5	3	0	0	0	8
2歳 たんぽぽ組	2	5	1	3	0	0	11
3歳 なのはな組	3	4	2	1	0	0	10
4,5歳 すみれ組	5	16	1	2	1	1	26
合計	10	36	9	8	1	1	65
<p>⑤ よく知っている 10 (15.4%) + ④ まあ知っている 36 (55.4%) = 合わせて 46 (70.8%)</p>							
AA 想定する周知状況になっているか？	BB どの程度の周知状況が目標なのか？						
<p>毎年、『理念』や『方針』の保護者への周知状況を保護者アンケート等で確認し、取り組み方法の妥当性を確認すると共に、⑤よく知っている + ④まあ知っている で合わせて 何%程度を目標値とするのか</p>							

園内で議論され、数値による目標管理も合わせてご検討下さい。【 数値目標があると知恵が深まります 】

### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	㉠・b・c
〈コメント〉 県社協の情報誌(毎月発行)や市の福祉計画などのHPから情報を得ると共に市の「子ども・子育てを取り巻く現状と課題」から確認し分析を行っている。また毎月事業活動計画書を確認してコスト分析、定員に対する利用率の分析を行うと共に中長期計画にも反映されていることが確認できた。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	㉠・b・c
〈コメント〉 「経営課題を明確にした、具体的な取り組みについて」分析し文書化して理事会、総会にて共有すると共には定例の職員会議等で通知し意識付けを行い周知させていることが確認できた。		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉠・b・c
〈コメント〉 目標を明確にした、「つくしんぼ保育所中長期3ヵ年計画」が策定されている。その内容は 当年度の事業計画、予算も勘案して作成されており実施状況の評価も行える。また、毎年度12月の補正予算をたてる際に見直しを行っている。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉠・b・c
〈コメント〉 「中長期3ヵ年計画」の内容を反映した事業計画、収支計画が策定され、具体的な内容で記載されている。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉠・b・c
〈コメント〉 事業計画は全職員に実施した「改善提案アンケート」の意見や保護者アンケートの意見を集約・反映させて策定している。また、月次の事業活動計画書の報告として会議等で職員に繰り返し周知している。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉠・b・c
〈コメント〉 業計画の内容は年度初め保護会、総会等で説明され理解を促している。		

### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉠・b・c

<コメント> 日々の保育の中で自己評価（毎年）、保護者アンケート（定期）、第三者評価（3年毎）を通して保育の質の向上に向けた取り組みが組織的に行われていることが確認できた。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<コメント> 保育の質の向上に向けた取り組みにおいて、主任保育士が中心となり全職員参画で「改善提案アンケート」による改善提案が、数多く出されており、園一体となって理念の実現に取り組んでいることが確認出来た。その出来映えは、たいへん良く出来ていました。		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<コメント> 「設長の役割と責任」として文書化し、職員に説明上、配布して周知が図られていることが確認できた。また不在時の権限委任等も明確にされている。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 「遵守すべき法令一覧表」を作成し、掲示されている。また施設長は民間保育園協議会主催の研修会に参画し情報を得ると共に職員に対しても会議や保育室内掲示等により周知のための取組を行っている。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> 保育指導計画を評価・分析して指導している。また改善提案アンケートや外部研修を積極的に受講させそのレポートを回覧すると共に会議等で周知を図り保育の質の向上に向けた取り組みが行われている。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> 月次の「事業活動計画書」にて分析を行っている。また、経営の改善や業務の実効性を高めるため「改善計画書」にて各課題への責任者や副主任を定めると共にそれぞれの役割を表記して自らもその活動に参画し指導力を発揮している。		

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<コメント>		

「福祉人材の確保・育成計画・人事管理の体制整備」として計画書を作成して、計画に基づく人材の確保のための活動が実施されている。

15 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。 (a)・b・c

〈コメント〉  
「つくしんぼ保育所 期待する職員像」として明文化し、会議等で周知すると共に、職員の評価について自己評価を行い、人事考課が行われている。人事管理体制の中で主任保育士、副主任になる基準を示し、自己評価・改善アンケートからの改善提案をもとに随時個別面談を行い、自ら将来の姿を描けるようにしている。

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 (a)・b・c

〈コメント〉  
就業状況が記録され月毎の「事業活動計画書」で把握管理されている。有給休暇取得簿を毎月記録し、時間外勤務は届出制として把握し、必要であれば代替職員の確保も考慮されている。また、健康診断。検便、インフルエンザ予防等健康管理に積極的に取り組んでいる。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 (a)・b・c

〈コメント〉  
期待する職員像を明確にして、「職務分担表」にて基本姿勢やなすべき業務を示し、施設長や各職員の「担任」ノートにて、日々の課題、職員のキャリアに応じて教育・研修が行われている。

18 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 (a)・b・c

〈コメント〉  
職員の教育・研修において基本方針は「期待する職員像」として示され、教育・研修も積極的に行われていた。また、教育・研修計画（平成28年11月28日作成）は、研修内容やカリキュラムの見直しが12月12日に行われました。見直し箇所は、保護者のアンケートで多く記載されていた①防犯面を強化する研修や、②遠足で山などに出かけることが多く、危険予測の力を身につける研修等でした。

19 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 (a)・b・c

〈コメント〉  
職員の専門資格取得状況を把握して、ベテラン職員の指導方法を引き継ぐようにして、キャリアの浅い職員へのOJTが行われている。外部研修に関しては行政からの情報を中心に、職員の経験や志向、適性をふまえた研修の参加を勧奨している。複数の職員が参加する際の欠員を補うために、場合によっては異年齢クラスの合同保育を行う等の配慮がされている。

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 (a)・b・c

〈コメント〉  
『実習生受け入れマニュアル』にて基本姿勢を示し、マニュアルに記載された研修・育成や特性に配慮したプログラムを指導者（主任保育士）が用意して実施している。また、実習校と連携して、担当教諭とのコミュニケーションもとっている。



Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>理念、基本方針、保育の内容、決算をHPを活用して情報公開がされている。園の取り組み実施状況、地域の福祉向上の取り組み実施状況、園内掲示やHP上でも公表している。「地域から信頼される保育所」の理念や基本方針やビジョン、活動等を地域へ向けてHPや広報誌、玄関所内外に掲示して情報公開を行っている。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>『経理規定』が整備され、職員にも立替え経費精算等のルール等が周知されている。事務、経理、取引等に関する職務分担と責任・権限が明確にされ、職員に周知している。また、必要に応じて委託している公認会計士（副理事長）に助言を得ている。</p> <p>しかし、外部監査の活用による事業、財務に関する外部の専門家によるチェックは行なわれていない。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>地域との関わり方について理念の「地域に信頼される保育所」目指しており、地域との交流をHPで提供し、運動会、餅つき大会のお知らせや日々の散歩や公園でのあいさつ励行や地域の盆踊り会への参画や高齢者とのお花見会の機会を設けて、積極的に地域との交流に取り組んでいる。また、保護者のニーズに応じて病後保育の案内やファミリーサポートセンターの案内等の配布も行なわれている。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>マニュアルにて受け入れ、協力に関する基本姿勢が明文化されている。これに基づき指導員を主任保育士がボランティアに対してオリエンテーションを実施している。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>社会資源を明示した「連絡先一覧」で情報の共有化を図ると共にその所在地、連絡先も確認している。地域のネットワーク会議に参加して近隣小学校との連携を行っている。また校区の人権教育の会議に参加している。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	㉑・b・c
<p>〈コメント〉</p>		

夏の地蔵盆祭り、冬のクリスマス会、餅つき会、親子クッキング、絵本読み聞かせ、ベビーマッサージ、作って遊ぼう等多彩な交流会を実施すると共にまちの子育て広場スケジュールをHPや子育てステーション前で告知して広く参加を呼びかけている。 災害時の地域の役割も確認されている。地域のイベントや作品の出展等にも積極的に参画して活性化に貢献している。

27 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。 a・b・c

〈コメント〉

理念である「地域から信頼される保育園」を目指し、様々な交流会を実施すると共に「町の子育広場」として、子育てホットステーション「つくしんぼ」を開設し地域住民の子育てや多様な相談に応じている。

こどもの日	お誕生日会	砂場遊び
		

園庭のゴーヤ採り	盆踊り会	避難訓練
		

山海鍋会	地域の介護施設に訪問	クリスマス会
		

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
<コメント> 『マニュアル』で子どもを尊重した保育や、人権に配慮した保育の記載がある箇所を確認しました。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	㉑・b・c
<コメント> 『プライバシー保護規程（こどもの羞恥心に配慮）（平成28年11月9日作成）』を11/28付けの職員会議で周知している事を確認したり、設備面での見えない工夫を確認したりして、子どもの羞恥心や権利擁護に配慮した保育が実施されている事を確認しました。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
<コメント> 市役所の窓口に園のパンフレットを置いており、市や園のHPに保護者向けに分かりやすく詳細な情報が提供されています。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<コメント> 保育の開始時や内容を変更した際も、保護者が安心できる様、分かりやすく丁寧に説明されています。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<コメント> 転園時や卒園児も保育の継続性に配慮した対応を行っています。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<コメント> 保護者会で、「懇談時アンケート」や「親睦会アンケート」を実施したり、日々の送迎の折や連絡帳で保護者の意向を把握しようとされています。  今回、実施した2016年9月の保護者アンケート結果は、100%の回収率（65件回収/65件配布）で、その内容も大変良いもので、絶賛されていました。  ☆ ☆ ☆ 保護者が感じている“つくしんぼ保育所”の魅力の一部抜粋 ☆ ☆ ☆  ① よく散歩に出かけている ② たくさん野外活動がある ③ 自然との関わりを大切にしてくれる ④ 地域のイベントによく参加している ⑤ 異年齢の交流がある ⑥ 家庭的な雰囲気		

<p>⑦ 少人数なので手厚い保育で目が行き届いている                  ⑧ 保護者への配慮がある</p> <p>★ 保護者より、いくつか要望も出ておりましたが、それに対し園では改善を計画されていました。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉗・b・c
<p>&lt;コメント&gt;                  『苦情委員会』が設けられており、入園のしおりにその内容を記載し、園内の玄関には『苦情解決委員会の仕組み』及び『苦情申出書』が掲示されています。今までに、大きな苦情は出ていません。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉗・b・c
<p>&lt;コメント&gt;                  保護者が相談や意見を述べやすいよう相談室を設けたり、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した『苦情委員会の文書』は総会で配布しています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉗・b・c
<p>&lt;コメント&gt;                  『保護者の意見、相談を受けた際の対応マニュアル』（平成28年12月12日作成）には、                  ① 目的を確認し、意見を受けたら、速やかに報告しヒヤリハット記録に記載する                  ② 父母会のアンケート結果を取り入れていく、                  ③ 内容によっては、第三者委員会に報告し、解決に努めていく、等が記載されています。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉗・b・c
<p>&lt;コメント&gt;                  子どもの安心と安全を脅かす事例の収集は、主に「ヒヤリハット」を記入し行っています。また、『危険予防のマニュアル』を基に話し合っ、職員に安全確保・事故防止に関する研修を行っています。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉗・b・c
<p>&lt;コメント&gt;                  『保健所からのしおり』等の掲示対応を会議で再確認し、玄関に情報を掲示したり、お帳面にも記して保護者にお知らせしています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉗・b・c
<p>&lt;コメント&gt;                  防災計画を整備し、消防署と連携したりして、年に2回訓練を実施している。『食料及び備品の備蓄リスト』（平成28年12月12日作成）も確認しました。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a・b・c

<p>〈コメント〉 『食中毒の予防をするために』『特に気をつけたい食中毒』のマニュアル（平成28年11月28日作成）は、見直しの時期が明確ではありませんでした。今後は、毎年6月に見直しを予定しているとの事でした。</p>		
41	<p>Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。</p>	a・ <b>b</b> ・c
<p>〈コメント〉 『不審者が出たときの対応マニュアル』（平成28年11月28日作成）は、見直しの時期が明確ではありませんでした。今後は、毎年6月に見直しを予定しているとの事でした。</p> <p>★ 今回、実施した2016年9月の保護者アンケート結果で、保護者より不審者対策に対し要望も出ておりましたが、それに対し園では改善を計画されていました。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p>	(a)・b・c
<p>〈コメント〉 各種のマニュアルがあり、標準的な実施方法が文書化されています。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	(a)・b・c
<p>〈コメント〉 主任保育士を中心に年度初めに見直しを行い、職員会議で共通認識を持っています。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。</p>	(a)・b・c
<p>〈コメント〉 「月間指導計画書」は、各クラス（正）（副）担任が策定し、園長・主任保育士が確認しています。給食、衛生管理、障害児保育、育児相談等は、多職種が関わりアセスメントを実施しています。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>	(a)・b・c
<p>〈コメント〉 「指導計画」の評価・反省を活かし、次の計画につなげ、P（Plan・計画策定）→D（Do・実行）→C（Check・評価）→A（Act・見直し）のサイクルを継続して実施することで、指導計画の質の向上を図っています。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
46	<p>Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	(a)・b・c
<p>〈コメント〉 子どもに関する記録は、「児童票」や「個人記録」（健康診断、身体測定、ヒヤリハット記録、発達診断票、総合所見）等に記載しており、職員会議を通じて、園全体の情報の流れを統一し、情報を共有しています。</p>		
47	<p>Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。</p>	(a)・b・c
<p>〈コメント〉 『個人情報保護規定（H.23. 4. 1作成）』に子どもに関する記録の管理方法や体制の記載があり、全職員に配布し（H28. 9. 29）、職員会議等を通じて、教育を行っています。</p>		

## 評価対象A 実施する福祉サービスの内容

### A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	Ⓐ・b・c
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	Ⓐ・b・c
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	Ⓐ・b・c
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	Ⓐ・b・c

特記事項

- (1) 生活の連続性を発達<sup>1</sup>の連続性につなぐ取り組みがしっかりと行われていることを指導計画から確認しました。
- (2) 朝の会では、当番制でみんなの前で今日の予定を伝える役割を課しています。恥ずかしがらずに人前で話せたり、人の話を聞いたりする態度が自然に育つ工夫をされています。
- (3) 子供の健康管理は、個人の帳面(連絡ノート)に記載し、お迎えの時に口頭で詳しく話している。事後の確認は次の日の送り時に口頭で確認している。また、帳面で確認している。休みの場合は、休みの連絡を受けた際に様子を聞いたりしている。
- (4) 食育の取組みとして、下記の活動を通して命を頂く大切さと、毎日の食事が生きるエネルギーになる事を子ども達に伝えようとしています。
- ① 野菜の栽培や収穫  
調理前の野菜の形を知る。食に対して興味を持ち、苦手なものにも挑戦する事が出来るようになる。作る大変さを知り、作り手に対して感謝を持てるようになる。
  - ② 行事食  
特別なメニューで食事への楽しみを持つようになる。旬の食材を使うことで食を通して季節を知り、感じる事が出来る。
  - ③ 調理保育  
自分の手で食材に触り調理をする事で作る工程を知り、食に対する関心や食べる事への意欲を高める。好き嫌いが減るきっかけになる。

---

今回、実施した2016年9月の保護者アンケート結果で、食育に対し下記のコメントがありました

---

- ① 食に関しても色々なものを食べ、好き嫌いが少なくなる
- ② 菜園でできた野菜が食べられる
- ③ 食育を学べる(手作りおやつ、給食など)

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㉓・b・c
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㉓・b・c
A㉑	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	㉓・b・c

特記事項

- (1) よい子ネットで保護者に対してその日の様子を携帯から発信されています。その日の様子がほぼリアルタイムで確認でき、保護者との信頼関係構築に大きく寄与していると思われました。
- (2) 送迎時に保護者と話すことを大切にされています。「細かい不満や不安」をキャッチしようとする心遣いを感じました。保護者の精神面や生活面での不安を把握する上でも重要な取り組みであると思います。
- (3) (2)の取り組みは、虐待にいたる兆候等を早期に発見できることにもつながると思われました。
- (4) 安全管理マニュアルを整備し、各相談所の連絡先を記載しており、早期に園長・担任で話し合い、対応するよう記載されていました。

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り (保育士等の自己評価)		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り (自己評価) を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	㉑・b・c

特記事項

- (1) 保育士自らの保育実践の振り返りは、月案に記入し、しっかりと自己評価に取り組んでおられます。
- (2) 保育士の自己評価を定期的に行っています。それを次年度への成長の糧にしようとしていることが月案・週案等から確認できました。

以 上